






























































































































































































































































































































































# せんだい 中高生会議

## 開催趣旨

仙台市では2021～2030年度の10年間のまちづくりの方向性を示す新しい「総合計画」の作成を進めています。

このイベントでは、未来の仙台を担う中高生世代が、これからのまちづくりの施策について共に考え、仙台市長に提案します。

## イベント概要

### 「せんだい中高生会議

～仙台市長へ・私たちからの提案です～

**日時** 2019年7月28日(日)  
13:00～16:30

**場所** TKPガーデンシティ仙台 ホール30B  
仙台市青葉区中央1-3-1 AER30階

**参加者** 中高生世代(12才～概ね18才まで)

**主な内容** 少人数のグループに分かれてワークショップを行う



いわま ゆき  
**岩間 友希さん**  
 LLPモダンタイムス ディレクター  
 (仙台市総合計画審議会委員)

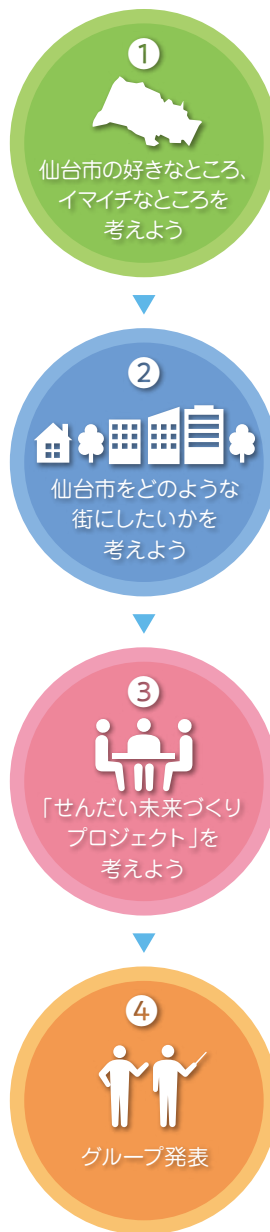
### ファシリテーターコメント

「10代にも届く情報発信を」「学力UPのために学校の休日開放を」など、中高生らしい視点・発言が飛び出す貴重な機会でした。初対面のメンバーとテーブルをともにし、意見を短時間でまとめて市長に提言する、大人でも難しいような内容でしたが、各チーム悩みながらも、提言にキャッチコピーを添えたり、掛け声を合わせたり、内容だけでなく伝え方にも配慮した発表が目立ちました。普段は顔を合わせることの少ない、違う学校の生徒同士でのディスカッションの機会を設けられたことや、中高生に関心が高いまちづくりのトピックを引き出したことなど、次へとつながる大きな成果があったと思います。

## プログラム

時間	内容
12:30	開場・受付
13:00	オリエンテーション 仙台市のまちづくりについて説明 ファシリテーター紹介
13:15	アイスブレイク (5分)
13:20	①仙台市の好きなおところ、 イマイチなおところを考えよう (20分)
13:40	②仙台市をどのような街にしたいか 考えよう (30分)
14:10	休憩 (15分)
14:25	③「せんだい未来づくりプロジェクト」を 考えよう (70分)
15:35	市長あいさつ
15:40	グループ発表、市長と意見交換 (50分)
16:30	終了

## 主な内容





## 当日の様子



# グループ1 テンションも学力も上げていこう!

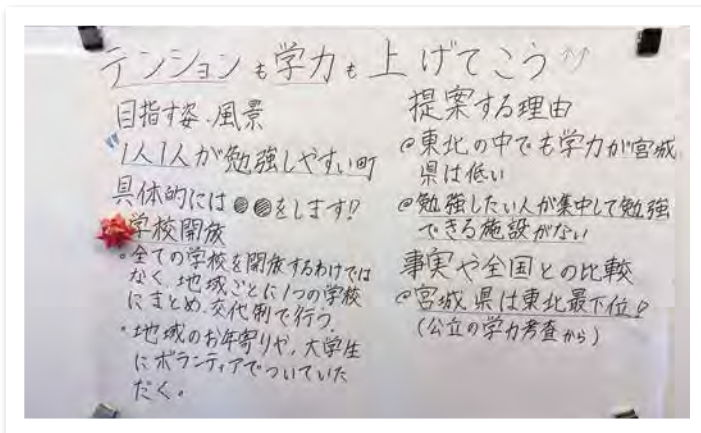


## 私たちの提案

私たちが目指す姿と風景は、一人ひとりが勉強しやすい街。具体的には学校開放です。全ての学校を開放するわけではなく、地域ごとに一つの学校にまとめて交代制で行い、地域のお年寄りや大学生にボランティアでついていただいてはどうでしょうか。

提案する理由は、インターネットで調べたところ、東北の中でも宮城県は学力が特に低く、また、勉強したい人が集中して勉強できる施設、例えば図書館などが少ないということがあります。きちんと学力を上げていかないとダメではないかという意見が出てきました。

地域によって、学校開放をしている学校、していない学校があり、ばらつきがあるので、きちんと制度を作るのが大切なのではないかと思い提案しました。



## 仙台市長コメント

今も仙台市では、学校支援地域本部という学校・家庭・地域が一体となった取り組みがあるのですが、生徒の皆さんから「学校開放」が大きく取り上げられたことが興味深かったです。それも大切な学力の向上に向けて、「一人ひとりが勉強しやすい街」にしていくために「学校開放を」という提言は、前向きな、中学生ならではの素晴らしい着眼点だと感じました。





## グループ1 テンションも学力も上げていこう!

### 「仙台の好きなおとこ、イマイチなおとこを考えよう」

- 様々なスポーツが盛ん
- 仙台駅に様々なお店があり便利
- 道路がきれい
- 祭りが多い
- 街はゴミが少なくきれい
- 交通の便が良い
- 街中でも緑があつたり自然が多い
- 住みやすい気候
- 人の多いところとの差がある
- 室内で楽しめるところが少ない
- 勉強する場所が少ない
- 学校が古くて汚い
- 図書館が少ない（利用時間が短い）
- 電車やバスが少ない
- 細い道や暗い道が多い
- 遊べる施設が少ない…など



### テーブルサポーターより

グループ1は中学生7名で構成された班でした。

「仙台の好きなおとこ、イマイチなおとこ」については、スポーツが盛ん、学校が古くて汚い、地下鉄・バスの運賃が高い、エスカレーターでの歩行は危ないなど幅広い分野の意見が出ましたが、図書館の営業時間が短く、勉強場所確保のためだけに塾に通う人が多いとの発言から話し合いが盛り上がり、勉強しやすい町を発表テーマとするに至りました。

発表内容の検討にあたっては、全国学力テストでの宮城県の順位を把握した上で、少しでも現実的な案になるよう、エリア毎に交代制にする、地域の方々に協力してもらうなど、自分たちなりの工夫を凝らしました。

初対面の中学生が集まってどこまで活発な意見交換できるのかという思いもありましたが、自分自身に身近な問題に対して各々が積極的に発言しながら、グループ一丸となって考えを整理できたことがとても素晴らしかったと思います。



### 参加してみての感想



Aさん

中学校 色々な中学校の方と関わって、良い経験になりました。

Bさん

中学校 今日仙台をもっと深く知れるいいきっかけとなりました。ありがとうございました。

Cさん

中学校 自分の住んでいる町について考えることができ、とても良かったと思います。

Dさん

中学校 昨年度あったイベントよりも流れなどがしっかりしていてとてもおもしろかった。様々な中学校の人と交流できてよかった。

Eさん

中学校 仙台の歴史や町並みなどを初めて知れた上、グループの皆と仙台についてしっかり話し合うことができ、とても良い機会でした。ぜひ、私達の意見を採用していただきたいと思います。

Fさん

中学校 いつも他の学校の人とはめったに話さないなので、いい経験になりました。



# For U(フォー・ユー)中高生が 伸び伸び利用できる施設づくり



## グループ2

### 私たちからの提案

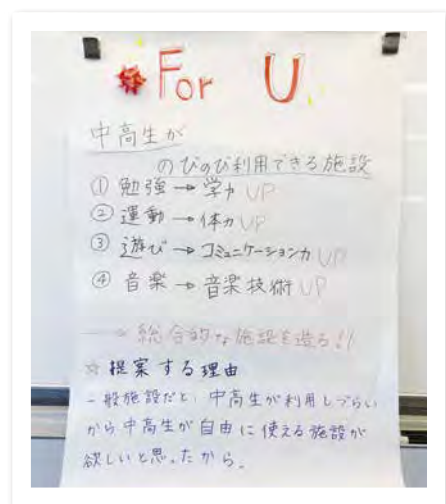
For U(フォー・ユー)は4つのユーという意味があります。

学力UP、体力UP、コミュニケーション力UP、音楽技術UPをできるようにするために総合的な施設をつくることを提案します。

具体的には、まず勉強に関しては、個人で黙々と勉強したい人、友達に教えてもらいながら勉強したい人という主に2つのパターンがあると思うので、2つの部屋をつくって好きな勉強方法で勉強ができる施設をつくります。

運動や体力アップのためには、体育館や広場をつくって遊べたり運動できる施設、コミュニケーション力アップにはボードゲームやカードゲームなど、例えば高校生の皆さんが遊びを企画して中学生のみんながそれに参加して一緒に遊ぶようなイベントなどを開催できる施設もあつたらいいと思います。

音楽技術アップには、仙台では音楽も盛んなので、ホールなどをつくってミニコンサートや楽器練習などを通して音楽の楽しさを発見できる施設があつたらいいと考えました。



### 仙台市長コメント

「For U(フォー・ユー)」、「あなたのために」と「4つ(フォー)をアップ(Up)」を掛け合わせたこのキャッチコピーは、素敵です。アップしたい4つとして、「学力」と「体力」のほかに、「コミュニケーション力」と「音楽技術」。初めは意外に感じましたが、交流も音楽も、ともに仙台市政で重要な要素。一緒にUPしていきたいですね。







## グループ2

# For U(フォー・ユー)中高生が 伸び伸び利用できる施設づくり

### 「仙台の好きなところ、イマイチなところを考えよう」

- 女性の活躍（市長が女性）
- 新鮮な食材が多い
- 特産品が多い
- 街並みがきれい
- 伝統行事がたくさんある
- 地域ごとに買い物する場所が多い
- 歴史が大切にされている
- 交通が便利
- 高齢化が進んでいる
- 学校のトイレが汚い
- いじめが多い
- 光熱費が高い
- 交通機関が悪い
- 自転車専用道路がない
- 中高生向けの施設が少ない
- ゴミのポイ捨てが気になる…など



### テーブルサポーターより

グループ2は中学生7名で構成された班でした。

「仙台の好きなところ、イマイチなところ」については、自然・環境、賑わい、交通などの幅広い分野で意見がでるなか、自転車専用レーンが少ない、ごみのポイ捨てが気になるなどの意見について、他グループからも共感を得ていました。その中でも休日や放課後に友人と集まれる場所が少ないという意見に多くのメンバーが共感。周りに気兼ねせず、勉強やスポーツ、遊びにも利用できる「中高生のための複合施設」を提案することとしました。

自分たちの普段の行動パターンや勉強スタイルなどを共有した上で、必要な施設機能について各々がアイデアを出し合いましたが、互いの意見を尊重しつつ見事にまとめ上げたと思います。自分たちの生活をより良いものにとの想いが提案の細かな部分にまで滲み出た素晴らしい内容でした。ひねりの効いたプロジェクト名や堂々とした発表にも感心しきりでした。



### 参加してみたの感想



Aさん

中学校

同世代の人たちと共に考えていく仙台市の未来はとても希望に満ちていたので、これからの仙台のまちづくりが楽しみです！

Eさん

中学校

他校との関わりがあったことは良かったし、仙台市への考えを深められた。市長に考えを聞いてもらえてうれしかった。

Bさん

中学校

他校の方と話し合うことで、様々な視点から仙台について考えることができ、情報・意見を共有する良い機会となりました。ありがとうございました。

Fさん

中学校

中学生同士だけでなく、高校生とも話し合いがしたかったです。それでも他校の中学生と関わられただけでも良かったです。

Cさん

中学校

様々な意見が聞けてよかったです。プレゼンもみんな上手で良かったです。

Dさん

中学校

他の学校の人とあまり話す機会がないので、参加できて良かったです。またこのようなことがあれば参加したいです。



# はじめて来ても楽しい、また来てもっと楽しい、Come again仙台作戦

## グループ3

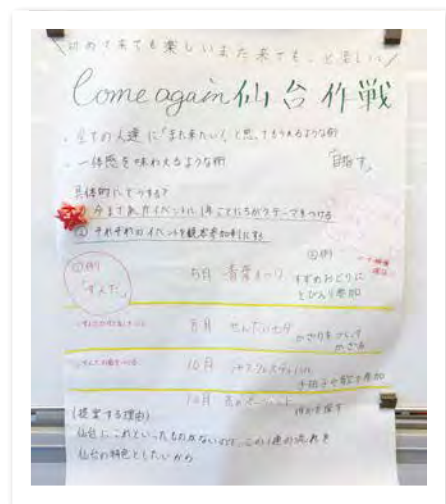
### 私たちからの提案

仙台市のイベントについての提言をさせていただきたいと思います。

話し合った意見で一番多かったのが、「仙台市にはこれ!」という強みがない、ポイントがないというところでした。でも、イベントはたくさんあるし、なにか目玉となるものをつくり出せないかなということ考えた結果、今ある仙台を代表するお祭りを全部シリーズ化して、今まであったイベントに1年ごとに違うテーマをつける。それぞれのイベントを観客参加制にするという2つのことを考えました。

例えば、テーマを「ずんだ」とすると、仙台七夕でずんだの吹き流しを作るとか、ジャズフェスティバルでずんだに関する楽しい曲を作るみたいなことができれば一体感が生まれるのではないかと思います。

また、観客参加制イベントにするという点では、青葉まつりのすずめ踊りに見ている人が飛び入りで参加できたら楽しいんじゃないか。ジャズフェスティバルは観客側が手拍子やみんなで歌えるずんだソングとかで一体感をもって楽しめたらより目玉となるものになるんじゃないかなと思いました。



### 仙台市長コメント

「また来たいとすべての人たちに思ってもらえるような街」という想い。これは私も同じ気持ちです。今あるイベントに、新たなテーマを付け加えて何度でも楽しめるようにという発想、そして、観客自らがイベントに参加し、一体感を感じてもらえるような仕掛けなどは、私も大いに賛成であり、工夫していきたいです。





### グループ3

## はじめて来ても楽しい、また来てもっと楽しい、Come again仙台北作戦

### 「仙台の好きなところ、イマイチなところを考えよう」

- 住みやすい
- スポーツが賑やか
- 人口が多すぎない
- 近くに温泉がある
- 有名な食べ物が多い
- 仙台駅周辺でも自然が多い
- 猛暑日、寒い日が少ない
- 交通網が整備されている
- 公園が雑草だらけ
- 学校は夏は暑くて冬は寒い
- 空港が近い
- 仙台駅周辺に大体の物がそろっている
- 仙台といえばコレ!が弱い
- 通学路が暗い
- 駐車が少ない
- 道路が狭い…など



### テーブルサポーターより

グループ3は中学生7名で構成された班でした。

「仙台の好きなところ、イマイチなところ」については、外国人が多いことや、学校にクーラーが付いたことなど多くの意見が出ましたが、「仙台といえばコレ!が弱い…」という意見に最も多くの共感が集まりました。また、全員が「イベントや祭りが多い」という意見を出していたことから、イベントをもっと仙台の売りにできないかという議論に進みました。方向性が決まると議論も活発になり、「何回も仙台に来てほしい」、「たくさんあるイベントに一体感があっていい」、「地元の人も観光客も、老若男女が楽しめるまちにしたい」などと、自然とコンセプトができあがりました。

提案内容は具体的で分かりやすく、その実現性の高さに驚かされました。他のメンバーの意見を受け入れ、さらに発展させるような議論ができたことが、完成度の高い発表につながったと思います。



Aさん

中学校

直接市長に提案できるという機会があることはすごくよいと思います。また他校と交流することもできたのでよかったです。この先まだ実現させることができない私たちですが、大人になったとき実現できている、また実現させることができればよいと思います。

Bさん

中学校

初めて他校の同世代の人と一緒に活動しましたが、とても参考になる考え方などが知れて、良い経験が出来ました。今後も色々な活動を通して、これからも輪を広げたいです。

Cさん

中学校

色々な学校の方が集まって話し合う機会は2回目だったので緊張したが、リーダーとして話し合いを進められたと思うのでよかったです。とても楽しかったです。ありがとうございました。

### 参加してみての感想



Dさん

中学校

普段自分たちが思っていることを市長に直接提案することができるという貴重な経験ができて良かったです。

Eさん

中学校

市長に直接私たちからの提案を聞いていただけて嬉しかったです。全体を通してすごく楽しかったです!ありがとうございました。

Fさん

中学校

とても有意義な時間を過ごすことができました。未来の仙台の姿を思い浮かべるととてもワクワクしますし、より仙台が好きになりました!ありがとうございました。

Gさん

中学校

市長に提案するという貴重な体験で緊張しましたが、とても充実した良い機会となりました。

## グループ4 海之都 せんだい



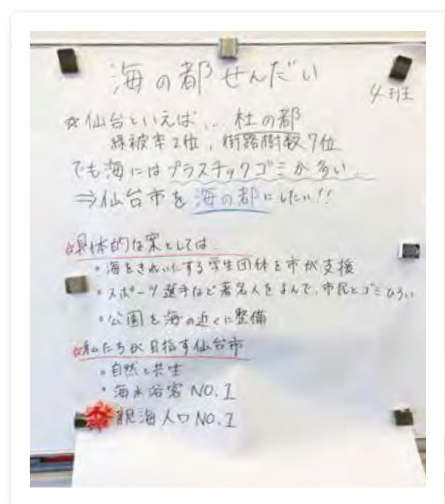
### 私たちの提案

仙台は、緑比率は全国2位で街路樹の数も全国7位で「杜之都」と言われています。しかし、市内の海に行くとプラスチックごみが多いのが現状です。いま世界的にもプラスチックごみが注目されていると思います。そこで私たちは仙台市を杜之都だけでなく、「杜と海之都 仙台」にしたいと思いました。

具体的な案としては、海をきれいにする学生団体を仙台市が支援すること。スポーツ選手などや有名人、例えばサンドウィッチマンさんや羽生

結弦選手などを呼んで、市民と一緒にごみ拾いだけでなくさまざまな環境に関する活動をする。そして公園を海の近くに整備し、子ども達にも自然に触れあってもらい、子育てにも強い面をもった仙台市をつくる必要があると考えました。

私たちが目指す仙台市は、「自然と共生した仙台」、「海水浴客NO.1の仙台」、そして「親海人口NO.1」。親海人口とは、海と親しむ人口という意味のことで、今は深沼海岸が期間限定で海開きをしていますが、期間限定ではなく、これからはもっと長い期間で海開きされるような海水浴場が増えればよいなと思っております。



### 仙台市長コメント

仙台の海にプラスチックごみが多くなっていることが気がかりと、皆さん話されていました。子どもの頃の海水浴がキラキラとした思い出であればあるだけ、なおさらその思いは深くなるのでしょう。「杜と海之都」、「親海人口NO.1」などのキャッチコピーとともに、自然との共生を探ろうとする若い皆さんの姿勢に頼もしさを感じました。





## グループ4 海の都 せんだい

### 「仙台の好きなところ、イマイチなところを考えよう」

- 教育機関のレベルが高い
- 学生が多い（特に大学生）
- 防災教育がしっかりしている
- 科学館など学べる場所が多い
- 広い海と海洋資源
- 子育て支援が手厚い
- プロスポーツが盛ん
- 東北の中心部
- 本社が少なめ
- 県外に就職する人が多い
- アルバイトの給料が少ない
- 夕方の飲み屋のキャッチが多い
- 渋滞しやすい
- 仙台駅周辺に人が集まりすぎ
- 地下鉄、バス料金が安い
- 地方部の過疎化…など



### テーブルサポーターより

グループ4は高校生6名で構成された班でした。

「仙台の好きなところ、イマイチなところ」については、環境、教育、交通などの幅広い分野の意見が出されましたが、仙山線がよく止まる、アルバイトの賃金が安い、海が汚いなど「イマイチなところ」に参加者からの共感の多くが寄せられました。そこで、海が汚い主因であるプラスチックゴミを課題として捉え、本市の特徴である「杜の都」、「海、まち、川、森が近接していること」に着目した提案が出され、テーマは「杜の都」にかけた「海の都せんだい」に決まりました。具体策の検討が一番苦慮したところでしたが、マンパワー確保が一番の課題と考え、学生が多いこと、本市出身の著名人が多いことの利点を生かした提案が出されました。

初見の者同士のグループであるにも関わらず、短い時間の中で一人ひとりが真剣かつ積極的に意見を出し合い、まとめ、発表に至ったのは脱帽でした。



### 参加してみたの感想



Aさん

高等学校

もう少し準備する時間がほしかったです。データやグラフなどをもっと活用したかったです。

Bさん

高等学校

周りの人達の知識が多くて、あっけにとられました。こういう人たちがたくさんいるのは良いことだなと思いました。

Cさん

高等学校

仙台市長さんに直接提案させていただくことができ、良い経験となりました。ありがとうございました。



# 仙台縦横無尽計画 ～仙台を走りまわれ!～



## グループ5

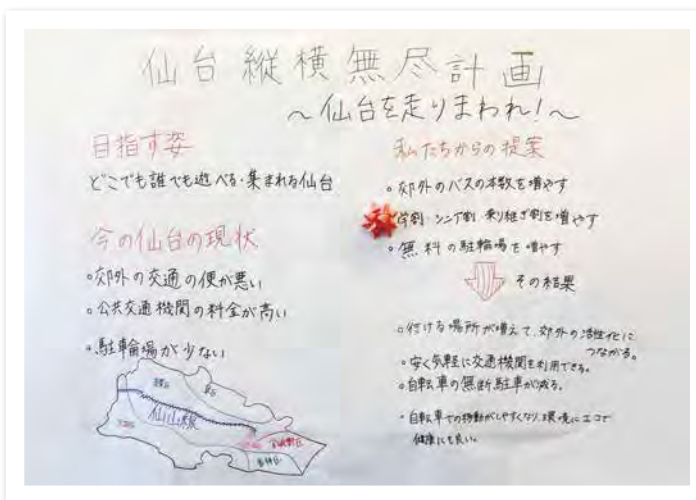
### 私たちからの提案

目指す姿は、どこでも誰でも遊べる・集まれる仙台。具体的には老若男女が地域に関係なく遊べて、縦横無尽に走り回れる仙台ということです。

次に今の現状ですが、仙台市に住んでいながらも中心部に行きづらいという問題があるという意見が出ました。バスも少なく、最寄駅まで行くのがすごく大変だという話を聞いたことがあります。

そこで、バスの本数、学割・シニア割・乗り継ぎ割、無料駐車場を増やすということが私たちの提案です。

その結果、行ける場所が増えて郊外の地域活性化につながり、都市開発の地域差も解決できるのではないかと思います。また、自転車のマナーが悪いという問題に対しては、無料の駐輪場を増やすことによって無断駐輪が減るのではと考えました。



### 仙台市長コメント

学割、シニア割、乗り継ぎ割。色々な手法を組み合わせる乗客を増やす。このことは公共交通機関において重要な課題です。「老若男女が縦横無尽に移動できる仙台」とまでは、なかなかいきませんが、これまで仙台市でも様々な取り組みを進めてきました。これからの先も見据えながら、皆さんが利用しやすい公共交通機関となるように頑張ります。





## グループ5 仙台縦横無尽計画～仙台を走りまわれ～

### 「仙台の好きなところ、イマイチなところを考えよう」

- おしゃれな店が多い
- 身近にスポーツを楽しめる
- 都市部と自然の融合
- 暑すぎず寒すぎない
- 水がおいしい
- 助け合いが良く見られる
- 環状自動車専用道路がある
- 学生の社会参画の機会が多い
- 人が多すぎる
- 地域のひととの関わりが薄い
- 空気が汚い
- 水がおいしくない
- 自然を活かしきれてない
- 坂が多い
- 救急車が通るのが多い…など



### テーブルサポーターより

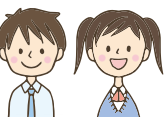
グループ5は高校生7名で構成された班でした。

「仙台の好きなところ、イマイチなところ」については、海、山、街の全てが揃っているという都市環境や、遊ぶ場所が駅前に限られていて賑わいに地域差があること、バスの運賃が高いこと、自転車のマナーが悪いことなどの交通に関する意見に共感が集まりましたが、最終的に交通環境の改善に特化した議論が進められました。地図などで公共交通が行き届いている範囲を確認しつつ、郊外に住む身近な方の声も踏まえ、全員が課題を共有した上で意見を出し合い、シンプルで分かりやすい、まとまりのある発表になったと思います。

賑わいづくりを起点とするのではなく、交通アクセスの改善が郊外の活性化にもつながるという発想が素晴らしく、行政が交通環境を「課題」と捉えているのに対し、「仙台を走りまわれ!」というポジティブなテーマ設定を行ったことには感心させられました。



### 参加してみたの感想



Aさん

高等学校

時間制限があったりしてまとめたりするのは大変でした。でも市長にも会えてグループの人と色々な意見を出しあうのはとても楽しかったです。またこのような機会があったら参加したいです。

Bさん

高等学校

普段他の学校の人達と関わる機会がないので良い経験になりましたし、仙台の未来作りに参加する事ができて嬉しかったです。市長さんに会えて楽しかったです。

Cさん

高等学校

仙台市長に直接提案する機会是这样ないので、とても良い機会だなと思いました。

Dさん

高等学校

市長が思ったよりもユーモラスだった。

Eさん

高等学校

学校では話しにくいような話題で、この機会に皆の意見を聞くことができたので良かったです。中高生が交流する場もあっても良いのではないかと思います。この班の提案が採用されますように!!



# グループ6 人とのつながりを増やそう

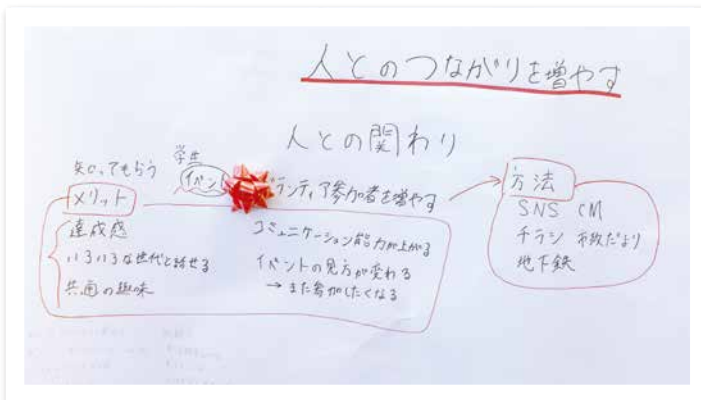


## 私たちからの提案

仙台では「いじめ」についていろいろ言われていますが、年齢に関係なく、お年寄りの人とかともお話しする機会を持ったり、人とのつながりが増えれば、いじめられても解決することができたり、自殺にまで追い込まれることがないのではないのかと思いました。人とのつながりを増やすために提案したいことが、ボランティアをもっと増やすということです。

具体的には、学生が参加しやすいボランティアはイベントかなと思っています。イベントは仙台にたくさんあるし、若い人とかも参加しやすいものだからです。ボランティアと聞くと、無償、自分の時間を費やすイメージもありますが、それよりも達成感とか思い出づくり、コミュニケーション能力が上がったり、いろいろな人と関わることができるというメリットをもっと広めていきたいなと考えました。

ボランティアをやっていない人は、そういう知識が入ってきにくいと思います。それを広めていく方法として、CMだったりチラシを作ったり、地下鉄やバスなど人がたくさん利用する所に掲示しておくというのも提案したいと思います。



### 仙台市長コメント

「ボランティア」は、「志の高い人が参加する」と思われがちですが、今回のグループでは、「人とのつながりを増やす」ために、ボランティアの場を「利用」という逆転の発想をしていました。自身の人脈を築き、経験の幅を広げるために参加するボランティア。そういう入り口から始めるボランティアから、層を厚くする手法も面白いと思いました。







## グループ6 人とのつながりを増やそう

### 「仙台の好きなおとこ、イマイチなところを考えよう」

- 交通の便が良い
- スポーツが多い
- 東北の大都市として栄えている
- イベントが多い
- 商業施設が多い
- 自然が多い
- 学校が多い
- 治安が良い
- 休日のバスの本数が少ない
- 特化している部分がない
- 名産品などが目立っていない
- 七夕まつりに活気がない
- 大学の立地が悪い
- いじめ・自殺が多い
- 障害の方への手助けの仕方を知る機会が少ない…など



### テーブルサポーターより

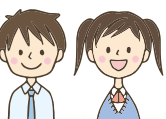
グループ6は高校生6名で構成された班でした。

「仙台の好きなおとこ、イマイチなところ」については、イベントが多い、自然が多いなどの明るい意見が出た一方で、いじめや自殺が多いという意見が最も共感を集め、このテーマについて議論が進められました。いじめに対する思いや高校での取り組みを共有することで少しずつ意見が出始め、いじめのない未来となるよう、ボランティア活動を通じて自分の世界を広げるとともに、人とのつながりを増やすプロジェクトの提案に至りました。ボランティアを増やすため、やりがい以外のメリットに訴求するなど、斬新な着眼点での意見が出たと思います。

このようなテーマについて、初対面で自分の考えを述べることは勇気が要ることだったと思いますが、真正面から向き合い、考え続けた姿勢に感動するとともに、「市民力」が若い世代に受け継がれていくことを嬉しく感じました。



### 参加してみたの感想



Aさん

高等学校

自分たちの提案がどのように反映されたのかわかるようになっていたらいいなあと思います。

Bさん

高等学校

これからの仙台について深く考えることができてよかったです。





# グループ7 仙台の魅力 GET だぜ! 計画

## 私たちからの提案

私たちの目指す姿は、「全員に情報を伝える、気づいたら知っていた、多くの人たちに来てもらえる街」です。

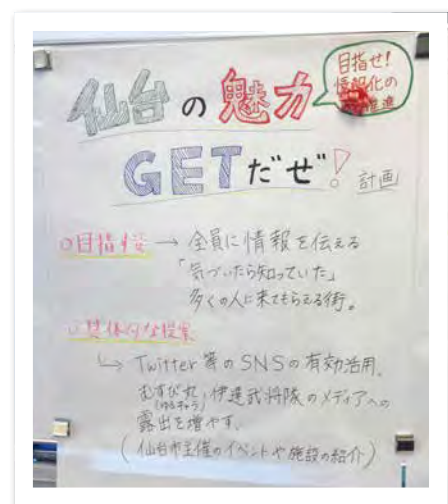
具体的な内容としては、SNSの有効活用と、むすび丸・伊達武将隊のメディアへの露出を増やすことを提案いたします。

現代の若者はテレビを見ずにスマホに依存している人もけっこう多くいるので、SNSでの情報発信をしていただく必要があると思いました。

また、仙台では4大イベントが有名ですが、それをさらに広めるためにイベントのダイジェスト動画などを学生団体とコラボして作ってもらったりすれば話題性も生まれてもっと有名になるのではないかと思います。

この議題を提案する理由としては、情報がまず透明化されていないというのと、仙台の魅力を経済中の人に知ってもらおうということです。

そう考えた理由として、知れる情報が少ないからもっと増やすべきということや、仙台に愛着を持ってもらえると人が外に出て行かないと思うので、広報を増やし仙台の良い所を多く知ってもらおうという思いから考えました。



## 仙台市長コメント

仙台市のホームページなど、市民の皆さんへ知らせる情報をもう少しわかりやすく、若い人たちの感性も取り込んで発信していくべきとの意見をいただきました。仙台の魅力の情報発信については、若い皆さんのご協力もいただけるとの心強い意見も聞けました。皆さんの情報発信力に大いに期待しています。





## グループ7 仙台の魅力 GET だけ! 計画

### 「仙台の好きなところ、イマイチなところを考えよう」

- 食べ物がおいしい
- イクスカが便利
- 交通の便が良い
- 仙台駅周辺に何でもそろっている
- アーケードが賑わっている
- 他県の人でも来やすい
- 歩いて行けるところが多い
- ゴミが少ない
- 公共交通機関の料金が高い
- 街中の渋滞が多い
- 栄えているところとの差がある
- 学力が低い
- 学校間の関わりが少ない
- 地元の東北大学への進学率が低い
- 少子化
- 若者が輝ける場所がない…など



### テーブルサポーターより

グループ7は高校生7名で構成された班でした。

「仙台の好きなところ、イマイチなところ」については、おいしい食べ物、楽しいイベント、豊かな自然などが好きなところとして挙げられた一方、地下鉄料金やバス遅延などの公共交通機関の問題や、いじめ等の教育問題がイマイチなところとして挙げられました。その後の議論は、どんなに仙台市に魅力があっても、知られていなければ意味がないという点に着目して進められました。仙台市の魅力をもっと発信し、多くの人に来てもらって、住んでいる人にも愛着を持てる街にするという方向性が固まったことで、SNSやゆるキャラ等の活用、学生団体とコラボしたPR動画の作成などの具体的な意見も出されました。

インターネットやスマートフォンとともに成長してきた若い世代ならではの提案だったと思います。チームワークが良く、発表用資料の作成もスムーズで、とても素晴らしい発表でした。



### 参加してみたの感想



Aさん

高等学校

中学生と高校生が別々のグループだったので、ぜひ中学生とも意見交換してみたいと思いました。市長さんと直接やりとりできるのを知らなかったのが、登場された時は驚きました。気さくで優しい方だと思いました。これからもがんばってください!!!

Bさん

高等学校

色々な人の意見を聞くことができ、とても良い体験ができました。

Cさん

高等学校

思いはあっても言葉に出せない…と思うことが多々ありました。グループで話し合うことの大切さを感じ、難しかったです。もっと機会を積みたいです。

Dさん

高等学校

私は仙台に住んでいながら中心部のことが知らないのだと感じました。仙台の良さを改めて考える良い機会だったと思います。

Eさん

高等学校

仙台に生まれた時から住んでいる身として、仙台のこういう会議に参加してみたいのもあって参加しました。とても興味を(今後の仙台について)持つことができ楽しかったです。ありがとうございました!

Fさん

高等学校

作業の時間が短くて、社会人の方々はこのほど限られた時間の中で仕事をしなくてはいけないのかと、社会の大変さを知ることができました。楽しく活動できて、参加して良かったと思うことができました。ありがとうございました!



# グループ 8 楽しむ前にストレスをためさセンダイ!!

## 私たちがからの提案

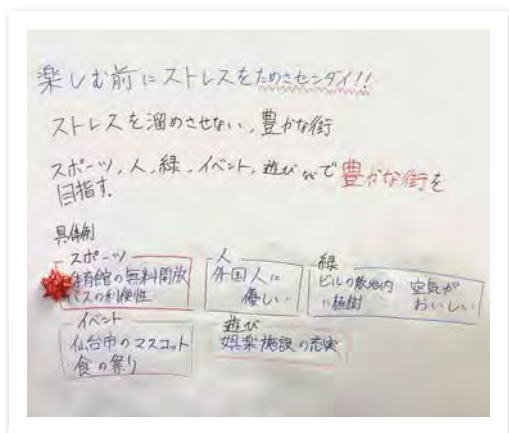
私たちはスポーツ・人・緑・イベント・遊びなどで、豊かな街を目指そうと考えました。

具体例としては、「スポーツ」では体育館の無料開放などがあります。これは友達と週末に運動や体を動かすことによってストレスを発散してもらうということ。現在は、スポーツをしたくても料金を気にしてしまうことが問題です。

次に「人」では外国人に優しくするために日本語以外の言語でアナウンスしたり看板を作ったりすることで外国人にも優しい社会をつくれると思いました。

「緑」というのは空気をおいしくしたり、ビルの壁などに植樹してはどうかと考えました。ビルの壁などにツタなどを絡みつけてもっと緑を増やし、もっと空気の良い仙台を魅力的につくれるかなと思いました。

「イベント」では仙台市のマスコットをもっとPRすべきだと考えました。正直、仙台市のマスコットというのをグループの中でもあまり知っている人がいなかったのもっとテレビなどに露出した名前を売って、そのつながりで仙台の良さを皆さんに知ってもらうことが大事だと思いました。



## 仙台市長コメント

スポーツをして楽しもうというときに、料金がなくてストレスを感じることがあるという高校生の皆さんからの意見がありました。公共施設を維持していくために、利用者の方々には一定のご負担をいただいておりますが、学生の皆さんの負担水準も含め、どんな未来の利用形態を描いていくのか、宿題をいただいたと感じています。





## グループ8 楽しむ前にストレスをためさせない!!

### 「仙台の好きなおとこ、イマイチなおとこを考えよう」

- 歴史がある
- 地元スポーツチームが愛されている
- 自然豊か
- 日本の中で涼しい気候
- 人が親切
- 暑くも寒くもなく暮らしやすい
- 仙台駅周辺で用事が済む
- 静かすぎずうるさすぎない
- 渋滞が多い
- 地下鉄の運賃が高い
- 大会ができる体育館が少ない
- 教室が涼しくない
- 街中で迷いやすい
- 仙山線がいつも満員
- 全国的に見て学力があまり高くない
- 風が強い



### テーブルサポーターより

グループ8は高校生7名で構成された班でした。

「仙台の好きなおとこ、イマイチなおとこ」については、イベントやお祭り、スポーツが盛んという賑わいに関すること、緑が多くて空気おいしいという自然に関することについて好きという意見が出た一方、渋滞が多いことや地下鉄の料金が安いといった交通面でのイマイチなおとこも多く意見が出され、共感を得ていました。その後の議論では、着目する視点がバラバラだったため目指す街の姿について方向性を導くことに苦労しましたが、「すべてを満たせるような豊かな街にしよう」というリーダーの一言から、方向性に道筋が見え、議論が回り始めました。

最終的に時間が足りなくなっていましたでしたが、グループ丸となって議論をまとめて発表に至ることができたこと、初めて顔を合わせた方にも関わらず一つの目標に向かって邁進できたことが非常に素晴らしいと感じました。



### 参加してみた感想



Aさん

高等学校

毎年実行してほしい。

Bさん

高等学校

体育館の開放、お願いします!

Cさん

高等学校

体育館の無料開放は実現してほしいです。

Dさん

高等学校

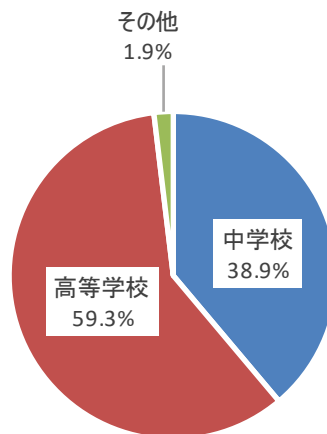
他の学校の方と意見を交換することができたので良かったです。また今回のような機会があったら参加したいです。



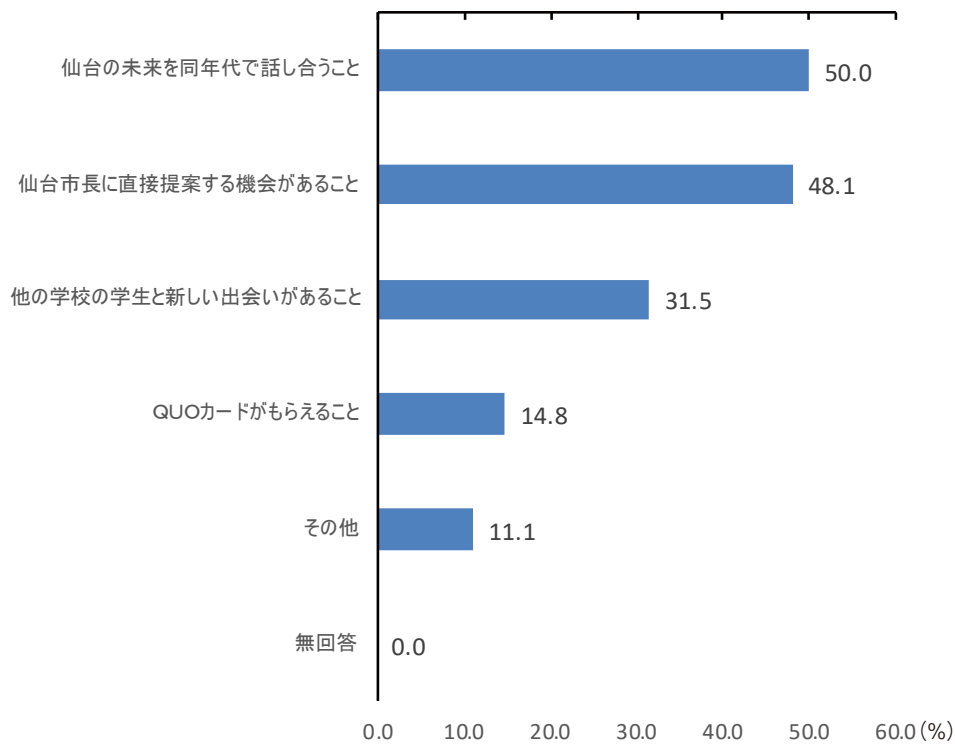
## 「仙台市中高生会議」参加者アンケート 集計結果

### ■所属（SA）

カテゴリ	件数	%
中学校	21	38.9
高等学校	32	59.3
その他	1	1.9
無回答	0	0.0
合計	54	100.0



### ■参加理由（MA）

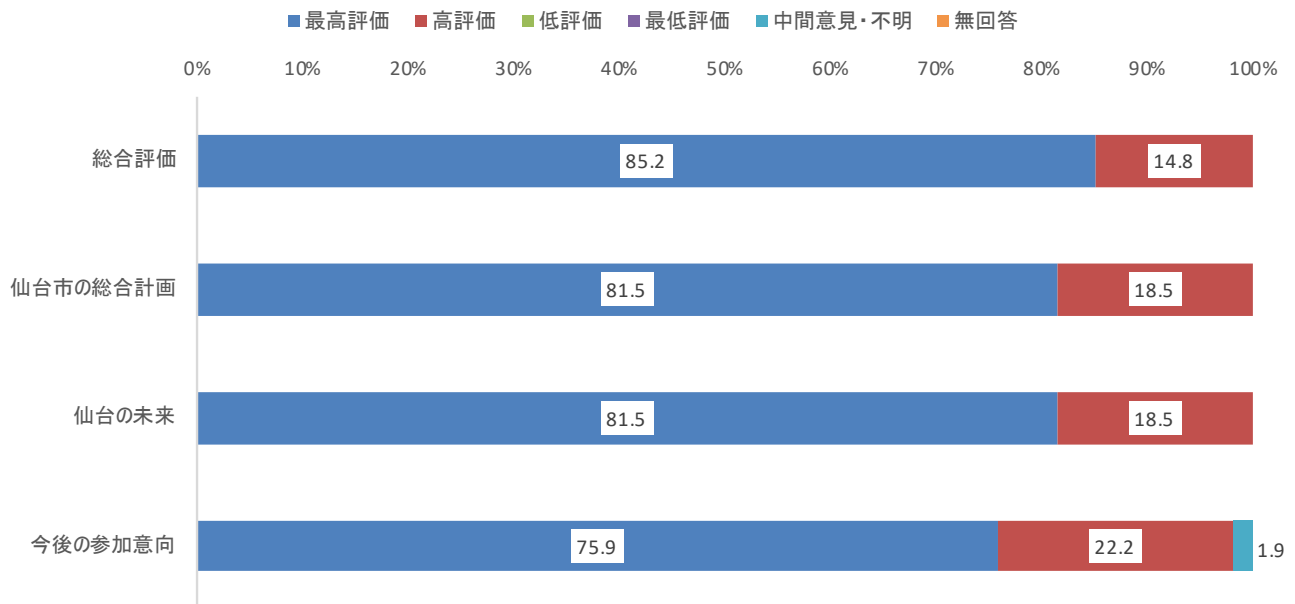




## ■各種評価(それぞれSA)

上段:回答数 下段:%

	合計	最高評価	高評価	低評価	最低評価	中間意見・不明	無回答
このイベントに参加してみたいかがでしたか	54	46	8	0	0	0	0
	100.0	85.2	14.8	0.0	0.0	0.0	0.0
仙台市の総合計画について、興味や関心は高まりましたか	54	44	10	0	0	0	0
	100.0	81.5	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0
仙台の未来について、興味や関心は高まりましたか	54	44	10	0	0	0	0
	100.0	81.5	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0
今後、仙台市の総合計画を考えるイベントがあれば、参加してみたいですか	54	41	12	0	0	1	0
	100.0	75.9	22.2	0.0	0.0	1.9	0.0



### 【枝間別選択肢】

	最高評価	高評価	低評価	最低評価	中間意見・不明
このイベントに参加してみたいかがでしたか	よかった	どちらかと言えばよかった	どちらかと言えばよくなかった	よくなかった	わからない
仙台市の総合計画について、興味や関心は高まりましたか	高まった	どちらかと言えば高まった	どちらかと言えば高まらなかった	高まらなかった	わからない
仙台の未来について、興味や関心は高まりましたか	高まった	どちらかと言えば高まった	どちらかと言えば高まらなかった	高まらなかった	わからない
今後、仙台市の総合計画を考えるイベントがあれば、参加してみたいですか	参加したい	どちらかと言えば参加したい	どちらかと言えば参加したくない	参加したくない	わからない